

平成30年度の学校評価（目標）

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>1 学ぶ目的意識を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。                  2 学校いじめ防止基本方針に基づき、すべてのいじめの根絶を図るとともに、情報モラルを向上させる。                  3 キャリア教育の充実を図り、生き方や働き方について考え、自ら選択・決定することのできる力を育む。                  4 ESD活動の実践を通し、地球規模の諸問題に対応できる資質と態度を養う。                  5 「教員の多忙化解消プラン」に基づき、在校時間が月80時間を超過している教員の割合を5%以下とする。                  6 保護者・地域社会に対して情報発信を積極的に行うとともに一層の連携を図る。</p>		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>生徒指導 (生徒指導課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルの向上を図り、情報社会で適切に行動するための基となる考え方や態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業、担任指導、外部講師を始めとした各種講話等で情報モラルについて取りあげる。</li> <li>アンケートによる意識調査を行い、その結果を基にして事例を示しながら意識の高揚を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安易な個人情報や誹謗中傷掲載が、被害者だけではなく、学校、家庭及び地域社会に多大な影響を与える可能性があることを理解させる。</li> </ul>
<p>(2年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活力ある学校生活を送らせ、こころ豊かな人間性を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動全体を通して、生徒が生き活きと取り組めるようにさせる。</li> <li>朝学やHRなどを有効活用し、生徒のコミュニケーション能力を向上させ、こころ豊かな人間性を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任会、学年会を通して、取り組みの要点を押え、各職員が情熱を持って取り組む。</li> <li>定期的に室長会を開き、学年間の絆を深める。</li> </ul>
<p>(1年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律の確立と検定取得への意欲的な取り組み。</li> <li>部活動と学業との両立。</li> <li>生徒指導課と連携し、遅刻・身だしなみ指導の徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任会や学年会を通して情報共有。</li> <li>教科担任や部活動顧問との生徒情報共有。</li> <li>生徒指導課と連絡を密にし、落ち着いた学校生活を送れるよう努める。</li> </ul>
<p>学習指導 (教務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びを意識した授業展開の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科主任会にて、可能な限り主体的・対話的で深い学びについての情報を提供・共有し授業展開へと結びつける。</li> <li>公開授業習慣において、教科や担当科目の枠を越えて、様々な授業を参観し指導方法の共有へと結びつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の授業をベースとし、参加型授業をバランスよく取り入れ、学んだ知識を発表する場を設けることで、学びの質を高め、学ぶことの楽しさを理解させる。</li> <li>授業を参観し合うことで、自身の指導技術の向上と研鑽に務めることに主眼を置く。また、教科の特異性を知る機会としても活用する。</li> </ul>
<p>(経理科)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経理教育の充実と効果的な指導方法の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会計分野の内容について、理由を考えながら理解し、また会計情報を的確に読み取り、判断し、分析できる能力を育てる。</li> <li>外部講師の活用により、会計分野に興味を持ち、意欲的に上級資格に取り組むことができるように、授業展開を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考え、学びあいを大切に、会計情報に触れる機会を設け、主体的な学びになるよう授業展開を工夫する。</li> <li>将来、経理の専門家として活躍できる人材を輩出できるよう、会計分野に興味を持ち、楽しさを感じさせる授業展開や指導方法を工夫する。</li> </ul>
<p>(事務科)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践を含めたマナー教育とビジネス英語の充実と経理教育の授業展開の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師招聘や連携教育を実施し、マナーを習得させ、実践できる機会を数多く設定するとともにビジネス英語の充実を図る。</li> <li>経理教育の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や連携教育で学習した内容を日頃から実践できる機会を設ける。</li> <li>新科目の授業展開を小学科委員会で継続的に確立していく。</li> </ul>
<p>(情報処理科)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報リテラシー教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各科目においてアクティブラーニングを積極的に導入し、知識の定着をはかるとともに、情報リテラシー能力を育成する授業展開に努める。</li> <li>小学科委員会を活用し、各学年・分掌と協力を密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各考査において知識を問う問題に加え、情報リテラシー能力の向上につながる問題を取り入れる。</li> <li>今年度の取り組みが継続できるよう、小学科委員会でのコンセンサスを形成する。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学 習 指 導 (国際ビジネス科)  ( 図 書 課 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESD の視点を取り入れた国際教育活動を実践する。</li> <li>図書館の利用促進とデータベース化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的なESD活動を学び、国際理解を深める。</li> <li>企業や外部団体との連携を深め、実践的な教育活動を展開する。</li> <li>生徒のみならず職員に対しても図書館の利用を積極的に働きかけるとともに、魅力ある図書館づくりを心掛ける。</li> <li>図書についてパソコンを利用したデータベース化を完了させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人講師による外国語の授業展開を実践し、興味・関心を持たせる。</li> <li>利用しやすい図書館を目指し、更なる広報活動に努めるとともに、生徒の意見を積極的に反映する。</li> <li>図書委員を積極的に活用し、校内イベントを継続するとともに、校内POPコンテストなどの新たな取組により図書のPRをする。</li> <li>図書のデータベース化を完了させる。</li> </ul>
進 路 指 導 (進路指導課)  ( 3 年 学 年 会 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分で決めました」と言える進路選択の実現を目指す</li> <li>生徒の能力・適性の自己理解と先を予測した行動による進路希望の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大学展」「夢のマッチングフェア」「卒業生による企業説明会」などを活用し、企業・学校の情報を手に入れる機会をもたせる。</li> <li>「気になるチェックシート(調べ学習)」をとおして、相談室の資料(就職四季報・業界図鑑・大学の实力など)の活用を促す。</li> <li>毎月配布するプリントから世の中の変化を知り、自分の考え(意見)をまとめ発信させる。</li> <li>生徒自身が自らの進路を主体的に考え、先を予測して行動し、より良い選択ができるように、適切な情報提供及び助言や指導に努める。</li> </ul>	<p>情報の収集、資料の活用を促し、何をなすべきかを自覚できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告、連絡、相談、情報交換を通じて、学年会及び進路指導課との連携を密にし、多様な進路希望に対して適切な指導、対応を心がける。</li> </ul>
生 徒 会 活 動 (生徒会課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ユネスコスクール」認定校としてのESD活動を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会執行部が中心となってESD企画を立案し、全校生徒への取組を呼びかけ、充実した活動を目指す。</li> <li>「ユネスコスクール」として、活動の様子を積極的に外部へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESD活動の実践を通して、地球規模の諸問題に対応できる資質と能力を養う。</li> </ul>
教 育 相 談 (保健課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラー来校日を活用する。</li> <li>関係の職員と情報の共有を図りながら、適切な対応に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の教員で抱えることなく、学年団あるいは関係職員と連携を図り、チームで取り組むことができるように努める。</li> </ul>
P T A 行 事 (総務課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員と連携を図り、会員の学校行事への積極的な参加を促し、PTA活動を活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA役員及び理事が主導して、PTA行事の運営ができるようにサポートする。</li> <li>PTA活動への理解促進を図るため、積極的にPRする機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA活動をさらに充実したものにするために事後の反省を徹底する。</li> </ul>
情 報 管 理 (教育情報課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティに関する意識の向上を目指し、教員に対する啓発活動を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員向けの情報モラル教育を実施し、意識の向上と共通理解をはかる。</li> <li>教務課、各学年と連携し、適切な情報管理を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合教育センターでの研修を活用し、校内研修が実施できるように日程調整をおこなう。</li> <li>校務支援システムにおける、ヒューマンエラー等のインシデントに配慮する。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が生き生きと楽しく活動できる学校づくりができたか。</li> <li>教職員がやりがいを持てる学校づくりができたか。</li> <li>保護者・地域に対して開かれた学校づくりができたか。</li> </ul>	